

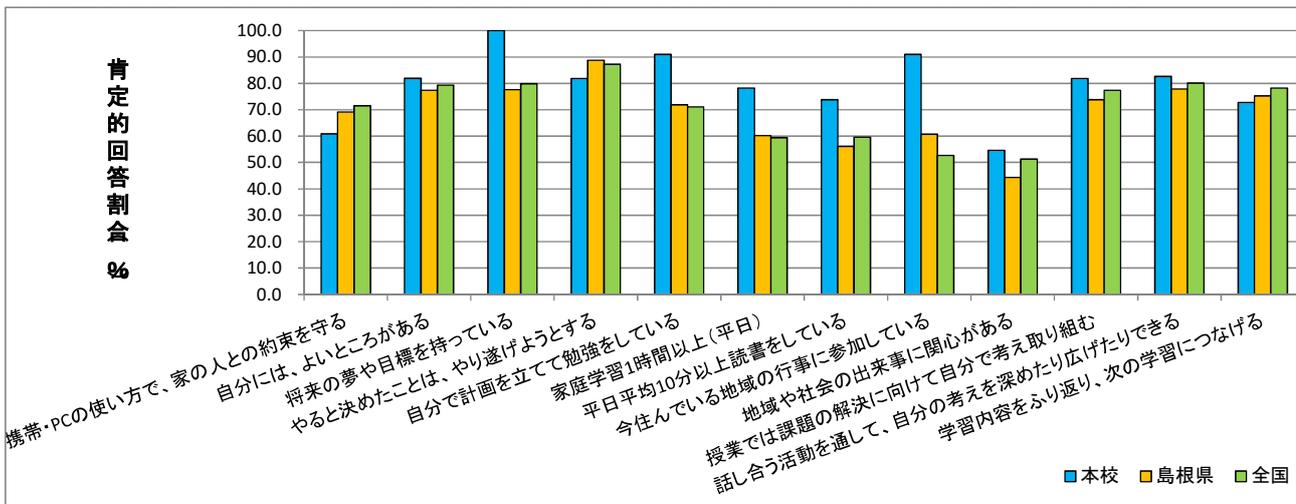
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができていた。 ●話し手や聞き手の話の中心を捉えることに弱みが見られた。 ●漢字を正しく使ったり、文字の大きさと配列に注意して書くことに弱みが見られた。	・普段の授業の中で、分からないことを質問しながら、相手が伝えたいことを明確にする時間を意図的に確保する。 ・書写の時間や書取会において、基礎基本の定着を図り、日々の学習に継続的に生かす。
算数	○図形を構成する要素に着目して、形の意味や性質、構成の仕方について理解できている。 ○基礎的・基本的な計算は正答率が高い。 ●日常生活と結び付けて状況を考えたり、データや問題文から必要な情報を読み取ることが難しい。	・様々な教科においてデータを活用して読み取る学習を増やしていく。 ・普段の授業から、日常生活に関わる問題を作成して取り組むなどして、問題の場面をイメージしやすくする。 ・情報を丁寧に読み取り、筋道立てて考える活動を増やす。
理科	○物や事柄の名称を答えることやグラフから数値の変化を読み取ることができている。 ●問題文から、情報を正確に読み取ることが難しい。 ●○○を元に△△になったこと、というように、2つ以上を関連付けて考えたり、文章で表現したりすることが苦手である。	・文章から情報を取り出し、根拠を基に考える活動を増やす。 ・ゆさぶり発問や問い返しをすることで、深く考えて答えるようにする。 ・ワークシートを工夫して、文章で表現する機会を増やす。

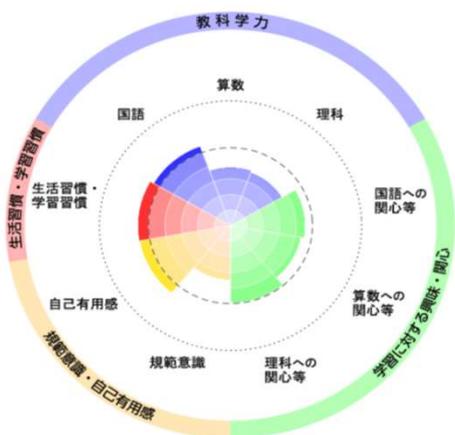
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○今住んでいる地域の行事に関心をもち、参加している。 ○将来の夢や目標をもっている。 ●学習を生活に役立てたり将来につなげたりすることが難しい。 ●メディア接触の時間が長く、おうちの人と約束を考えたりそれを守ったりすることが難しい傾向にある。	・生活場面と結び付けた問題を提示したり、学習したことが生活とどのようなかわりがあるか、指導者から提示したりし、学習と生活を結び付けていく。 ・児童にメディア接触に関わる実態を提示し、自己課題化を図る。家庭にも知らせ、メディアとの関わり方について共通理解を図る。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・昨年に引き続き、校内研究と関連をもたせ、友達と対話しながら学習を深めていくよさを実感し、主体的に学ぶことができるようにする。
・全学年を通じ、学習したことを生活の中で生かしたり、将来の夢につなげたりする場面を設定する。

【受検者数】

11 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。